

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月17日
【会社名】	旭有機材株式会社
【英訳名】	ASAHI YUKIZAI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤原 孝二
【本店の所在の場所】	宮崎県延岡市中の瀬町二丁目5955番地 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行な ております。)
【電話番号】	-
【事務連絡者氏名】	-
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区上野三丁目24番6号
【電話番号】	03(5826)8820
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員管理本部長 木下 全弘
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集金額】	その他の者に対する割当 199,938,700円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	旭有機材株式会社東京本社 (東京都台東区上野三丁目24番6号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【証券情報】

### 第1【募集要項】

#### 1【新規発行株式】

種類	発行数	内容
普通株式	107,900株	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数100株であります。

- (注) 1. 当社は平成29年10月1日付で株式併合（5株を1株に併合）を実施（以下「本件株式併合」といいます。）しており、上記発行数は株式併合後の発行株式数にて表記しております。また、同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
2. 平成29年11月17日開催の取締役会決議によります。
3. 振替機関の名称及び住所は次のとおりであります。  
 名称：株式会社証券保管振替機構  
 住所：東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号
4. 本有価証券届出書の対象とした募集は、会社法（平成17年法律第86号）第199条第1項の規定に基づいて、当社の保有する当社普通株式による自己株式処分により行われるものであり（以下、「本自己株式処分」といいます。）、金融商品取引法第二条に規定する定義に関する内閣府令第9条第1号に定める売付けの申込みまたは買付けの申込みの勧誘となります。

#### 2【株式募集の方法及び条件】

##### (1)【募集の方法】

区分	発行数	発行価額の総額（円）	資本組入額の総額（円）
株主割当	-	-	-
その他の者に対する割当	107,900株	199,938,700	-
一般募集	-	-	-
計（総発行株式）	107,900株	199,938,700	-

- (注) 1. 第三者割当の方法によります。
2. 発行価額の総額は、本自己株式処分に係る会社法上の払込金額の総額であります。なお、本有価証券届出書の対象とした募集は、自己株式処分により行われるものであるため、払込金額は資本組入れされません。

##### (2)【募集の条件】

発行価格（円）	資本組入額（円）	申込株数単位	申込期間	申込証拠金（円）	払込期日
1,853円	-	100株	平成29年12月4日	-	平成29年12月4日

- (注) 1. 第三者割当の方法により行うものとし、一般募集は行いません。
2. 発行価格は、本自己株式処分に係る会社法上の払込金額であります。なお、本有価証券届出書の対象とした募集は、自己株式処分により行われるものであるため、払込金額は資本組入れされません。
3. 本有価証券届出書の効力発生後、申込期間内に割当予定先との間で当該株式の「株式総数引受契約」を締結しない場合は、当該株式に係る割当では行われなないこととなります。
4. 申込み及び払込みの方法は、本有価証券届出書の効力発生後、申込期間内に当該株式の「株式総数引受契約」を締結し、払込期日までに後記(4)払込取扱場所へ発行価額の総額を払い込むものとし、

##### (3)【申込取扱場所】

店名	所在地
旭有機材株式会社東京本社	東京都台東区上野三丁目24番6号

## (4)【払込取扱場所】

店名	所在地
三井住友信託銀行株式会社本店営業部	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

## 3【株式の引受け】

該当事項はありません。

## 4【新規発行による手取金の使途】

## (1)【新規発行による手取金の額】

払込金額の総額(円)	発行諸費用の概算額(円)	差引手取概算額(円)
199,938,700	-	199,938,700

(注) 1. 発行諸費用は発生いたしません。

2. 新規発行による手取金の使途とは本自己株式処分による手取金の使途であり、発行諸費用の概算額とは本自己株式処分による諸費用の概算額であります。

## (2)【手取金の使途】

上記差引手取概算額199,938,700円につきましては、平成29年12月4日以降、諸費用の支払等の運転資金に充当する予定であります。なお、実際の支出までは、当社銀行預金口座にて適切に管理を行う予定であります。

## 第2【売出要項】

該当事項はありません。

## 第3【第三者割当の場合の特記事項】

## 1【割当予定先の状況】

## a. 割当予定先の概要

名称	三井住友信託銀行株式会社(信託口) (再信託受託者:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口))
本店の所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
直近の有価証券報告書提出日	(有価証券報告書) 事業年度第5期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)平成29年6月30日 関東財務局長に提出

## b. 提出者と割当予定先との間の関係

出資関係	当社の普通株式61,400株(発行済み株式数の0.31%)を保有しており、また当社は同社の親会社である三井住友トラスト・ホールディングス株式会社の普通株式148株(発行済み株式数の0.00%)を保有しております。
人事関係	該当事項はありません。
資金関係	該当事項はありません。
技術または取引関係	信託銀行取引があります。

(注) 割当予定先の概要及び提出者と割当予定先との間の関係の欄は、平成29年10月1日現在のものです。なお、出資関係につきましては、平成29年9月30日現在の株主名簿を基準として記載しておりますが、上記株式数は本件株式併合後の株式数にて表記しております。また、株式数の表記については以下も同様とします。

## c. 割当予定先の選定理由

当社は、当社取締役(非常勤取締役及び監査等委員である取締役を除きます。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(取締役兼務者を除きます。以下、総称して「取締役等」といいます。)を対象に、当社の取締役等の報酬と株式価値との連動性をより明確にし、当社の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的に株式報酬制度(以下「本制度」といいます。)を導入することといたしました。

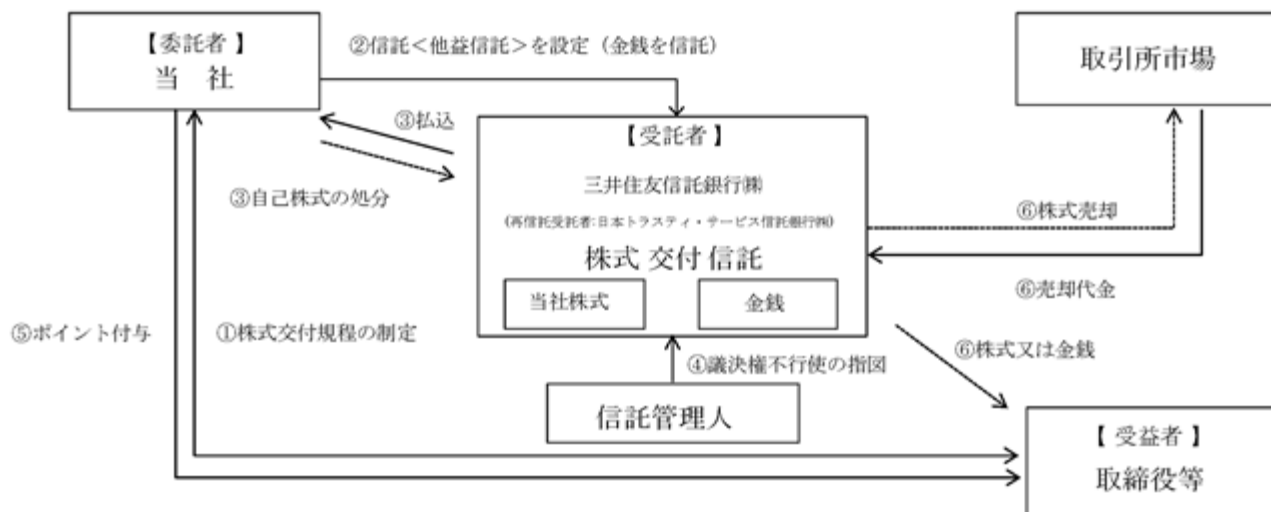
本制度に係るコンサルティング実績等、他信託銀行との比較等を行い、総合的に判断した結果、三井住友信託銀行株式会社を受託先とすることが当社にとって最も望ましいとの判断に至り、当社を委託者、三井住友信託銀行株

式会社を受託者として取締役等向け株式交付信託契約を締結する予定であり、かかる契約に基づいて、三井住友信託銀行株式会社に設定される信託口を割当予定先として選定いたしました。

(a) 取締役等向け株式報酬制度の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、役位に応じて当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式及び金銭が本信託を通じて各取締役等に対して交付されるという、株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時です。

(b) 取締役等向け株式交付信託の仕組みの概要



当社は取締役等を対象とする株式交付規程を制定します。

当社は取締役等を受益者とした株式交付信託（他益信託）を設定します。その際、当社は受託者に株式取得資金に相当する金額の金銭（ただし、株主総会の承認を受けた金額の範囲内の金額とします。）を信託します。

受託者は今後交付が見込まれる相当数の当社株式を一括して取得します（自己株式の処分による方法によります。）。

信託期間を通じて株式交付規程の対象となる受益者の利益を保護し、受託者の監督をする信託管理人（当社及び当社役員から独立している者とします。）を定めます。なお、本信託内の当社株式については、信託管理人は受託者に対して議決権の不行使の指図をし、受託者は、当該指図に基づき、信託期間を通じ議決権を行使しないこととします。

株式交付規程に基づき、当社は取締役等に対しポイントを付与していきます。

株式交付規程及び本信託にかかる信託契約に定める要件を満たした取締役等は、本信託の受益者として、累積ポイント相当の当社株式の交付を受託者から受けます。なお、あらかじめ株式交付規程・信託契約に定めた一定の場合に該当する場合には、交付すべき当社株式の一部を取引所市場にて売却し、金銭を交付します。

本信託終了時における本信託の残余財産のうち、当社株式については、全て当社が無償で取得した上で、取締役会決議により消却することを予定しております。また、一定の金銭については、あらかじめ株式交付規程および信託契約に定めることにより、当社および当社役員と利害関係のない特定公益増進法人に寄付することを予定しております。

なお、本制度において受託者となる三井住友信託銀行株式会社は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に信託財産を管理委託（再信託）します。

## (c) 本信託の概要

当社にて導入する「取締役等向け株式報酬制度」に係る信託

(1) 名称	取締役等向け株式交付信託
(2) 委託者	当社
(3) 受託者	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
(4) 受益者	当社取締役等のうち受益者要件を満たす者
(5) 信託管理人	当社と利害関係のない第三者を選定する予定
(6) 信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
(7) 信託契約日	平成29年12月4日
(8) 金銭を信託する日	平成29年12月4日
(9) 信託終了日	平成33年9月末日

## d．割り当てようとする株式の数

107,900株

## e．株券等の保有方針

割当予定先である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口））は、信託契約に基づき、信託期間内において当社取締役等を対象とする株式交付規程に基づき当社株式等の信託財産を受益者に交付するために保有するものであります。

## f．払込みに要する資金等の状況

割当予定先の払込みに要する資金に相当する金銭につきましては、本信託に対する当社からの当初信託金をもって割当日において信託財産内に保有する予定である旨、信託契約書により確認を行っております。

## g．割当予定先の実態

割当予定先である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口））は、割り当てられた当社株式に係る議決権行使を含む一切の権利の保全及び行使について、当社から独立した第三者である信託管理人の指図に従います。なお、信託管理人は、本信託の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口））に対して議決権行使に関する指図を行うに際しては、議決権を行使しないこととします。

割当予定先が暴力若しくは威力を用い、または詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体（以下、「特定団体等」といいます。）であるか否か、及び割当予定先が特定団体等と何らかの関係を有しているか否かについては、割当予定先である三井住友信託銀行株式会社のホームページ及びディスクロージャー誌の公開情報に基づく調査を行い、同社の行動規範の一つとして「反社会的勢力への毅然とした対応」が掲げられ、その取り組みに問題がないことを確認しました。また、割当予定先が暴力的な要求行為または法的な責任を超えた不当な要求行為などを行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体のいずれにも該当しないことの表明、及び、将来にわたっても該当しないことの確約を、信託契約において受ける予定です。これらにより、割当予定先が、特定団体等には該当せず、かつ、特定団体等と何ら関係を有していないと判断しております。なお、当社は、その旨の確認書を、株式会社東京証券取引所に提出しております。

また、再信託受託者である日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社につきましても、割当予定先同様、暴力もしくは威力を用い、または詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする特定団体等に該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことについて、信託契約において確約を受ける予定です。

従って、再信託受託者である日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が特定団体等でないこと及び特定団体等と何ら関係を有していないと判断しました。

## 2【株券等の譲渡制限】

該当事項はありません。

### 3【発行条件に関する事項】

#### a. 払込金額の算定根拠及び発行条件の合理性に関する考え方

1株あたりの処分価額は、最近の株価推移を鑑み、恣意性を排除した価額とするため、本自己株式処分の取締役会決議日の前営業日(平成29年11月16日)の終値といたしました。

また、処分価額1,853円については、取締役会決議日の直前営業日の直近1ヵ月間(平成29年10月17日~平成29年11月16日)の終値平均1,606円(円未満切捨て)からの乖離率15.38%、直近3ヵ月間(平成29年8月17日~平成29年11月16日)の終値平均1,494円(円未満切捨て)からの乖離率24.03%、あるいは直近6ヵ月(平成29年5月17日~平成29年11月16日)の終値平均1,381円(円未満切捨て)からの乖離率34.18%となっております(乖離率を算出するための終値平均は、本件株式併合前につきましては、本件株式併合の実施の前後で株価を連続的にとらえるため、併合割合に応じ5を乗じた値を用いて算出しております)。さらに、上記1のとおり、本自己株式処分により処分予定先は当社株式を信託財産として取得するものであり、取締役等が受益者として確定したときに当該取締役等に無償で交付することが予定されていますから、かかる処分価額は自己株式処分によって処分予定先が経済的利益を享受できるものではありません。

以上より、処分価額の算定は、処分予定先に特に有利な処分価額には該当しないものと判断しております(乖離率はいずれも小数点第3位を四捨五入し、表記しております)。

また、取締役監査等委員の全員が取締役会に出席し、監査等委員会(4名にて構成しており、うち3名は社外取締役)として、特に有利な処分価額には該当せず、適法であると判断している旨の意見を表明しています。

#### b. 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

処分数量につきましては、本制度導入に際し当社が制定する株式交付規程に基づき、信託期間中に当社取締役等に交付すると見込まれる株式数に相当するものであり、その希薄化の規模は、発行済株式総数19,800,400株(平成29年10月1日現在。)に対し、0.54%です。また、平成29年9月30日現在の株主名簿を基準として、本件株式併合を実施後の総議決権数190,601個に対する割合は0.57%です。なお、いずれも小数点第3位未満を四捨五入し表記しております。)となります。

当社としては、本制度が当社取締役等の報酬と当社株式価値の連動性を明確にし、中長期的には当社の企業価値向上に繋がるものと考えております。

また、本自己株式処分により割当てられた当社株式は、株式交付規程に従い取締役等へ交付されるものであり、本自己株式処分による株式が一時に株式市場に流出することは想定されていないことから、その希薄化の規模は合理的であり、流通市場への影響は軽微であると考えます。

以上により、本自己株式処分による影響は軽微であり、合理的であると判断しています。

### 4【大規模な第三者割当に関する事項】

該当事項はありません。

## 5【第三者割当後の大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	総議決権数 に対する所有 議決数の 割合	割当後の所有 株式数 (千株)	割当後の総 議決権数に 対する所有 議決権数の 割合
旭化成株式会社	東京都千代田区神田神保町1丁目105番地	5,839	30.64%	5,839	30.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	800	4.20%	800	4.17%
株式会社宮崎銀行	宮崎市橘通東4丁目3番5号	491	2.58%	491	2.57%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	442	2.32%	550	2.87%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人:シティバンク、エヌ・アイ東京支店)	OALISADES WEST 6300,BEE CAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 US (東京都新宿区6丁目27番30号)	361	1.90%	361	1.89%
日本生命保険相互会社 (常任代理人:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	356	1.87%	356	1.86%
住友金属鉱山株式会社	東京都港区新橋5丁目11番3号	340	1.78%	340	1.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	253	1.33%	253	1.32%
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3番1号	220	1.15%	220	1.15%
GOVERNMENT OF NORWAY	BANKPLASSEN 2,0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO	213	1.12%	213	1.11%
計		9,318	48.89%	9,426	49.18%

- (注) 1. 平成29年9月30日現在の株主名簿を基準としております。また、総議決権数に対する所有議決数の割合については、本件株式併合を実施後の総議決権数190,601個で除した数値です。なお、当社は平成29年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
2. 上記のほか、本件株式併合及びこれに伴い生じた端数株式を当社が一括して買取ったことを勘案した場合の自己株式620,157株があり、当該割当後は512,257株となります。但し、平成29年10月1日以降の単元未満株式の買い取りまたは買い増しによる変動数は含めておりません。
3. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
4. 所有議決権数の割合は小数点第3位を四捨五入して表記しております。
5. 「割当後の総議決権数に対する所有議決数の割合」は、「総議決権数に対する所有議決権数の割合」の算出に用いた総議決権数(190,601個)に本自己株式処分により増加する議決権数(1,079個)を加えた数で除した数値です。

## 6【大規模な第三者割当の必要性】

該当事項はありません。

## 7【株式併合等の予定の有無及び内容】

該当事項はありません。

## 8【その他参考になる事項】

該当事項はありません。

#### 第4【その他の記載事項】

該当事項はありません。



## 第二部【公開買付けに関する情報】

### 第1【公開買付けの概要】

該当事項はありません。

### 第2【統合財務情報】

該当事項はありません。

### 第3【発行者（その関連者）と対象者との重要な契約】

該当事項はありません。

## 第三部【参照情報】

### 第1【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等金融商品取引法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

#### 1【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第96期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日） 平成29年6月26日関東財務局長に提出

#### 2【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第97期第1四半期（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日） 平成29年8月8日関東財務局長に提出

#### 3【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第97期第2四半期（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日） 平成29年11月10日関東財務局長に提出

#### 4【臨時報告書】

1の有価証券報告書提出後、本有価証券届出書提出日（平成29年11月17日）までに、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書を平成29年6月28日に関東財務局長に提出。

### 第2【参照書類の補完情報】

上記に掲げた参照書類としての有価証券報告書及び四半期報告書（以下、「有価証券報告書等」という。）提出日以後、本有価証券届出書提出日（平成29年11月17日）までの間において、当該有価証券報告書等に記載された「事業等のリスク」について変更その他の事由は生じておりません。

また、当該有価証券報告書等には将来に関する事項が記載されていますが、本有価証券届出書提出日現在においてもその判断に変更はなく、新たに記載すべき将来に関する事項もありません。

### 第3【参照書類を縦覧に供している場所】

旭有機材株式会社延岡本社  
（宮崎県延岡市中の瀬町二丁目5955番地）  
旭有機材株式会社東京本社  
（東京都台東区上野三丁目24番6号）  
株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第四部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 第五部【特別情報】

### 第1【保証会社及び連動子会社の最近の財務諸表又は財務書類】

該当事項はありません。